

本時のねらい

5歳児: 1年生に安心感や親しみ、憧れの思いをもって関わろうとする。地域の幼稚園や保育園の同年齢の友達と一緒に過ごす雰囲気を感じ、安心感や居心地のよさを感じる。もうすぐ1年生になることへの安心感や期待感をもつ。

1年生: 園児との交流会を計画し、学校生活について工夫して伝えるなどして、楽しむことができるようにする。

本時のポイント

…事前研修の内容(授業・保育(交流)をするにあたって)



互惠性のある交流のために

就学前施設、小学校の双方の子どもたちや教職員にとって互惠性のある交流にするための話し合いを行った。ねらい、日時、タイムスケジュール、内容、グループ編成など、子どもたちの姿を想像して、入念に話し合った。小学校教員が架け橋となって、電子メール・電話・対面などの方法で、三つの就学前施設との連絡・調整を行った。

当日までに工夫したこと

ストーリーを大切に ～子どもの心が動くしかけを～

小学校

①もうすぐ1年生になるみんなのニーズを考え、聞く。  
「もうすぐ1年生だけど、今、どんな気持ちですか?小学校生活で知りたいことは何ですか?」など

①からビデオレター

③園児たちの質問をもとに、「1年生はたのしいよ」の会を企画・計画し、誘う。  
「今度、1年生はたのしいよの会をします。小学校に来て遊びませんか?」

①からビデオレター

⑤園児のニーズに答えられるように、遊びや学習など、会の内容を考え準備する。  
「ランドセルを背負えるようにしよう。学校の中も案内したいな。」

①からプリントで知らせる

就学前

②1年生のメッセージにワクワク。1年生の質問に答える。  
「どうしたら友達ができますか?先生は優しいですか?どんな遊びや勉強がありますか?」など

③から手紙・電子メール

④1年生からのお誘いメッセージを見て、小学校に行くことを楽しみに待つ。  
「小学校のお兄さん、お姉さんと、また会える。小学校に行って、どんなことができるか楽しみだな。」

⑥会の内容、メンバーを知り、当日を心待ちにする。  
「学校を探検できるんだって。楽しみだな。けんぱんハーモニカの演奏もあるみたい。」

③④ 内容&グループ表完成

③:幼稚園・保育園 ④:小学校

〇〇〇小学校のみなさんへ

すてきなビデオレターをありがとうございました!!  
ほんがんじゅうおうようちえんのみんなで、どうがをみさせてもらあきにいっしょにあそんでもらったおにいさん、おねえさんがどうか大よろこびでした!!  
もうすぐ小学生になる、ようちえんのみんなのいまの気持ちやきき!

【いまの気持ち】

- ・いろんなきょうじがあってワクワクする。
- ・みんなといっしょにべんきょうするのがたのしそう。
- ・どんなじゅぎょうがあるのかたのしみ。
- ・ちゃんとべんきょうできるか、こたえられるかしんばい。



## 前半:遊び・勉強紹介

## 後半:学校探検・紹介

※交流は、小学校:約3名、園:約4名でグループを構成し、前後半ともに同じグループで行った

**【出会い】** みんなヨロシクね!  
小学生が園児を迎えて、呼んで、グループのできあがり。みんなで自己紹介をした後は、幼稚園の先生が前に出て、みんなで一緒にエビカニクスを踊りました。すぐに打ち解けました。



あきみつけの時に会ったお友達とまた会えてうれしいな。園児さんのために優しくしたいな。

小学校に来て、ドキドキわくわくするな。みんなでエビカニクスが踊れて楽しいな。



### 【遊び・勉強紹介】

- ・ランドセル体験
- ・ころがしドッジ
- ・給食紹介
- ・けんぱん演奏など



### 【学校探検】

- ・職員室
- ・プール
- ・保健室
- ・1年生の部屋など

計画通りに進めます。園児に分かりやすく、楽しめるように頑張ります。園児も夢中になって体験します。



優しく手をひいて学校探検。あきみつけの時より、ずいぶん成長しました。園児は驚きと楽しさでルンルン。



園児さんに優しくできたよ。友達になったよ。カッコいい2年生になりたい。

小学校は楽しそうなところだな。楽しい勉強がいっぱいだ。早く1年生になりたいな。



**【さようなら】** みんなまたね! 園児さんがみんなで、「ひとりじゃないさ」の歌を歌ってくれました。この日のために、各園で連絡合って、曲を決めて歌っていました。園児は入学を楽しみに、1年生はもうすぐ2年生になる自覚をもちました。

## 交流を振り返って

交流をしている子どもたちは、目を輝かせて生き生きと活動することができ、普段の生活では見せない一面も見られた。1年生の自信溢れた表情や5歳児の興味津々な表情を見ると、幼保小交流が価値あるものであると確信がもてる。子どもたちの学びは人と人の間で起こり、幼保小で交流して共に学ぶからこそ、子どもたちが相手を意識することで目的をもち、心が動き、工夫が生まれ、質の高い学びとなる。さらに、その中で、やり抜く力、頑張る力、自己肯定感、自尊心、コミュニケーション能力、他者への思いやり、我慢する心などの資質・能力が育まれていくのだと感じている。交流後の教職員のふり返りが十分にできなかったことが今後の課題である。お互いにとって素晴らしい交流であったことは確認したが、今後は、事後の話し合いを充実させ、次年度につなげたいと思った。